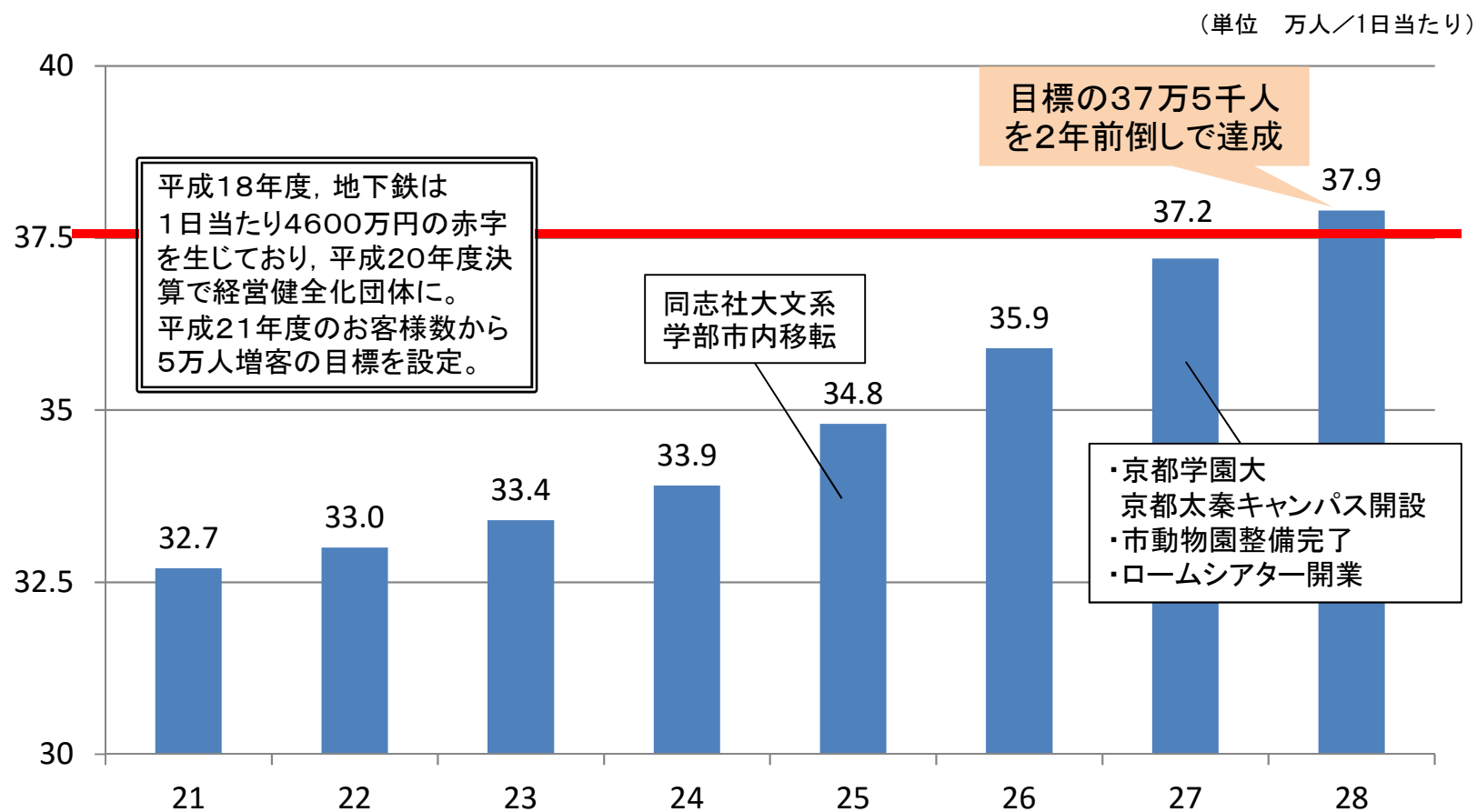


「地下鉄1日5万人増客」の取組の総括と 新目標「地下鉄・市バスお客様1日80万人」 について

- 1 平成21～28年度の地下鉄のお客様数の推移
- 2 地下鉄5万人増客に向けたこれまでの取組について
- 3 全庁を挙げた取組の成果の検証
- 4 アクションプログラムに対する各局区の評価
- 5 新目標「地下鉄・市バスお客様1日80万人」
- 6 新目標達成に向けた新たな体制の構築
- 7 地下鉄5万人増客達成/地下鉄・市バスお客様1日80万人
キックオフイベント
- 8 今後のスケジュール

1 平成21～28年度の地下鉄のお客様数の推移

経営健全化計画に基づき取り組んできた5万人増客目標の37万5千人を、市民や市会の皆様の御理解・御協力のもとオール京都市で増客策に取り組んだことにより、2年前倒しで達成



2 地下鉄5万人増客に向けたこれまでの取組について

京都市地下鉄5万人増客推進本部の取組経過

- ・本市では、地下鉄の1日5万人増客を健全化策の柱の一つに据え、平成22年4月に、副市長をトップとする全庁組織「京都市地下鉄5万人増客推進本部」を設置。
- ・各局区が485件の事業をアクションプログラムにエントリーし、全庁体制で地下鉄の増客策を推進。

【アクションプログラムの主な取組】

・地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進

・地下鉄駅及び駅周辺での観光・集客イベントの開催

- 美術館における展覧会の開催
- 元離宮二条城におけるイベントの開催
- KYOTO CMEX
- 京の七夕
- 東山花灯路
- 嵐山花灯路
- 光のアートフェスタ(山科区政40周年記念事業)
- 公共交通機関で巡るイベント「フォトロゲイニング」

・地下鉄を核としたまちづくりの推進

- 山ノ内浄水場の跡地利用の推進
- 岡崎地域活性化ビジョンの推進
- 新京都市動物園構想の推進
- 京都駅西部エリアの活性化

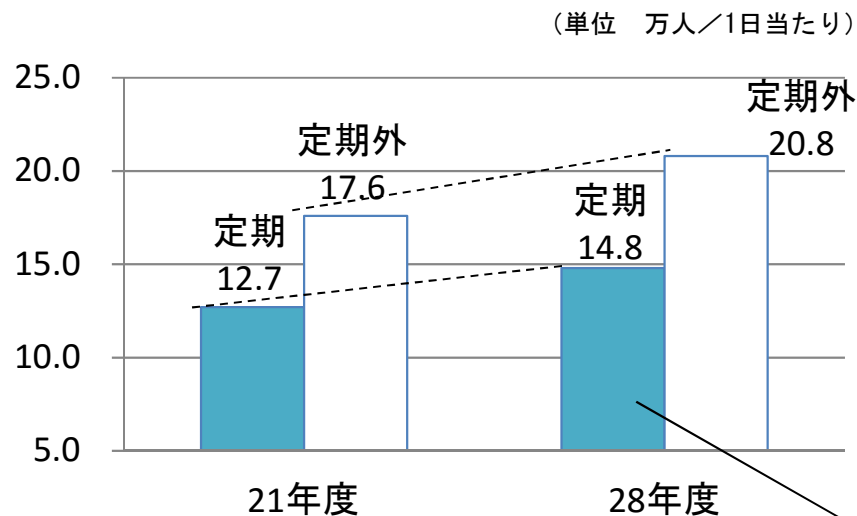
・大学のまち京都・学生のまち京都の推進

3-1 全庁を挙げた取組の成果の検証①(「歩くまち・京都」の浸透)

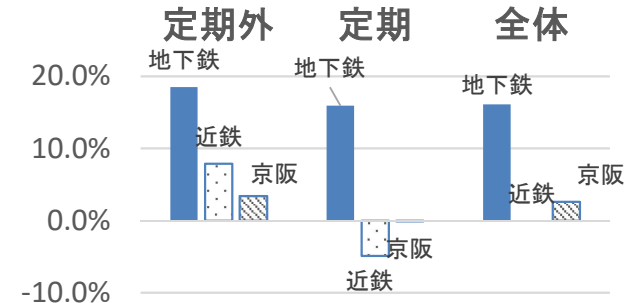
①定期券利用のお客様の着実な増加

- ・地下鉄全体のお客様は、平成21年度と比較すると16.1%増加。
- ・うち、定期券の利用も15.9%と大きく増加
(民間鉄道事業者との比較でも大変高い伸び)

【定期・定期外のお客様数の21-28年度比較】



民間事業者の定期・定期外の状況 (21-28年度増減率)



- * 民間鉄道事業者の数値は、各社のHP掲載の決算短信のお客様数をもとに増減率を算出
- * 民間鉄道事業者の定期外には、定期相当サービス (IC (PiTaPa) カードでの「区間指定割引」) の利用者が含まれている。

21年度比で通勤定期は17.3%、通学定期は14.1%の増

②定期券利用増の背景

- ・「歩くまち・京都」の取組が進んだことにより、自動車分担率が着実に縮減
(24年度:23%→28年度:21.8%)
- ・市域の活性化により、雇用状況が改善(有効求人倍率22年3月:0.60→29年3月:1.58)
- ・「大学のまち京都・学生のまち京都」の取組の推進により、21-28年度比で全国の大学・短期大学の学生数がほぼ横ばいの中、京都市は5.7%の増加

3-2 全庁を挙げた取組の成果の検証②(観光・集客イベントによる増客効果)

地下鉄の経営健全化計画の策定以降、京の七夕などの大型イベントや、沿線施設の二条城、美術館を会場とする魅力的なイベントの開催などにより、多くの人の移動が生まれた。

【経営健全化計画策定以降(平成21年度)に新たに実施された主な大型イベント】

○京の七夕(平成22年度～)

平成28年度来場者数：85万3千人

○京都マラソン(平成23年度～)

平成28年度に携わった人の数：55万1千人

○岡崎ハレ舞台(平成23年度～)

平成28年度来場者数：9万7千人

○その他の主なイベント

- ・KYOTO CMEX
- ・京都肉祭
- ・京の食文化を学び・味わう冬の京野菜まつり
- ・京の伝統と食のイベント
- ・光のアートフェスタin山科
- ・フォトロゲイニングをはじめとする広域からの参加者を対象としたイベント

* 21年度以降の新規事業ではないが、東山花灯路、嵐山花灯路も毎年約100万人が来場(28年度実績 東山花灯路:111万人 嵐山花灯路:119万人)

* 祇園祭後祭が平成26年度に復興(平成28年度の前祭・後祭観覧者数91万8千人)

【主な沿線施設における入場者等の増】

- ・二条城の年間入城者数＝平成21年度と28年度の比較で、36万9千人の増
- ・美術館の年間入場者数＝平成21年度と28年度の比較で、6万6千人の増

3-3 全庁を挙げた取組の成果の検証③(地下鉄を核としたまちづくり)

大学関係では、同志社大学文系学部の京都市内への移転や京都学園大学京都太秦キャンパスの開設、集客施設では、市動物園の整備やロームシアター京都の開業などの施設整備が進んだ。また、四条通の歩道拡幅や京都駅八条口駅前広場の整備など、「歩くまち・京都」の取組が進んだ。

【大学の開設等】

- 同志社大学文系学部の今出川キャンパスへの移転(平成25年度)
1・2年生約6,400人の増
- 山ノ内浄水場の跡地における京都学園大学京都太秦キャンパスの開設
(平成27年度)
学生・職員合わせて約2,400人の増(平成29年4月現在)

【集客施設の整備】

- 新京都市動物園構想に基づく整備(平成27年秋グランドオープン)
京都市動物園の年間入場者数が、平成21年度と28年度の比較で、17万人の増
- 京都会館再整備事業
ロームシアター京都の開業(平成28年1月)
年間入場者数240万人(平成28年)

【ひとと公共交通優先のまちづくり】

- 四条通歩道拡幅事業(平成27年10月完成)
- 京都駅八条口駅前広場の整備(平成28年12月グランドオープン)

34 全庁を挙げた取組の成果の検証④(若手職員増客チームの取組)

- ・平成22年度、「地下鉄5万人増客推進本部」の下部組織として、全局区からの公募職員による「若手職員増客チーム」の活動を開始。毎年、メンバーを入れ替え継続(延べ169名)。
- ・地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦萌」の創出や、沿線百貨店との連携、老舗酒蔵と連携した日本酒販売など、行政の枠組を超えた斬新な取組を積極的に展開。

【若手職員増客チームの主な取組例】

○地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦萌」の創出

後に企業や各種団体と交通局のコラボを生み出すこととなった「太秦萌」を発案
「太秦萌」のFacebookも運営し、フォロワー数は4,500人(平成29年4月時点)

○地下鉄駅階段への消費カロリー等の掲出

○「京都地ビールフェスタ」の開催

オリジナルビール「ひと増エール～増客祈願～」を企業と共同で醸造し、イベント会場で販売

○四条通歩道拡幅工事の完成を記念し、地域の商店街と連携したスタンプラリー

○沿線百貨店と連携した「太秦萌フェア」の実施

○地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦麗」の日本酒販売

京都の老舗の酒蔵3社とコラボした日本酒の販売。飲酒時の地下鉄の利用をPR

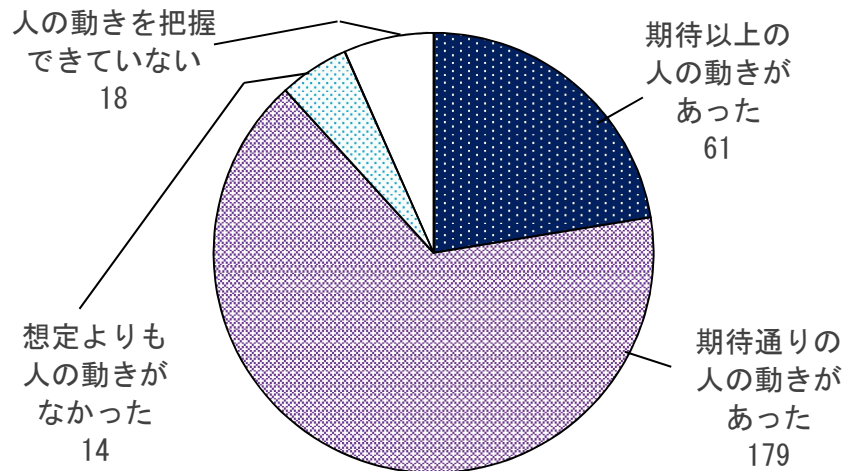
4 アクションプログラムに対する各局区の自己評価

増客目標の達成を受け、各局区に、各事業が増客にどのように寄与したかを照会した。とりまとめに当たり、施設整備、イベント開催などの増客に「直接的な効果があると考えられる事業」、計画策定やPRなど「間接的な効果があると考えられる事業」に分類し、意見をまとめた。

【各局区の回答結果】

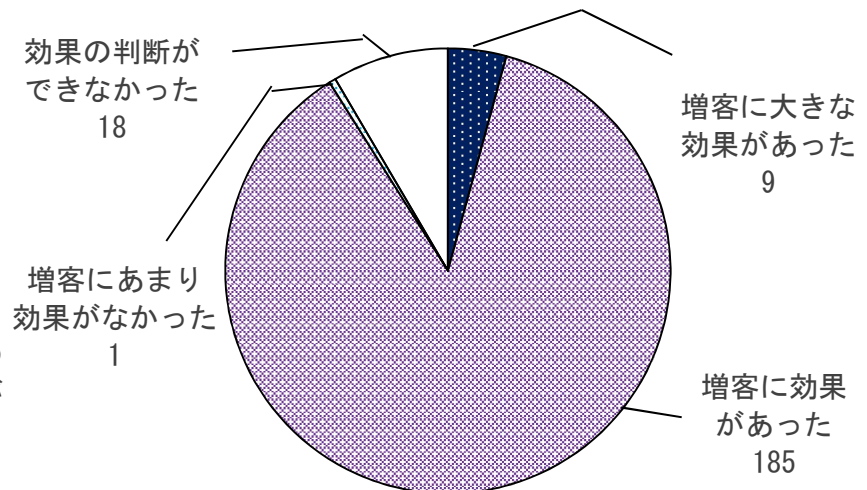
①直接的効果がある事業(272件)
(施設整備, イベント, 乗車券販売等)
⇒約9割の事業が、増客に効果があった。

(各局区の回答の内訳)



②間接的効果がある事業(213件)
(計画策定, PR, 利便性向上等)
⇒約9割の事業が、増客に効果があった。

(各局区の回答の内訳)



【参考①】駅別のお客様数の推移(21-28年度比)

増客要因として、烏丸線では、同志社大学の文系学部移転(※1)や沿線のホテル開業(※2)などの効果が考えられる。東西線では、太秦天神川駅までの延伸効果(※3)に加え、京都学園大学京都太秦キャンパスの開設(※4)、二条城や美術館などの沿線施設の来場者の増(※5)によりお客様数が増加した。

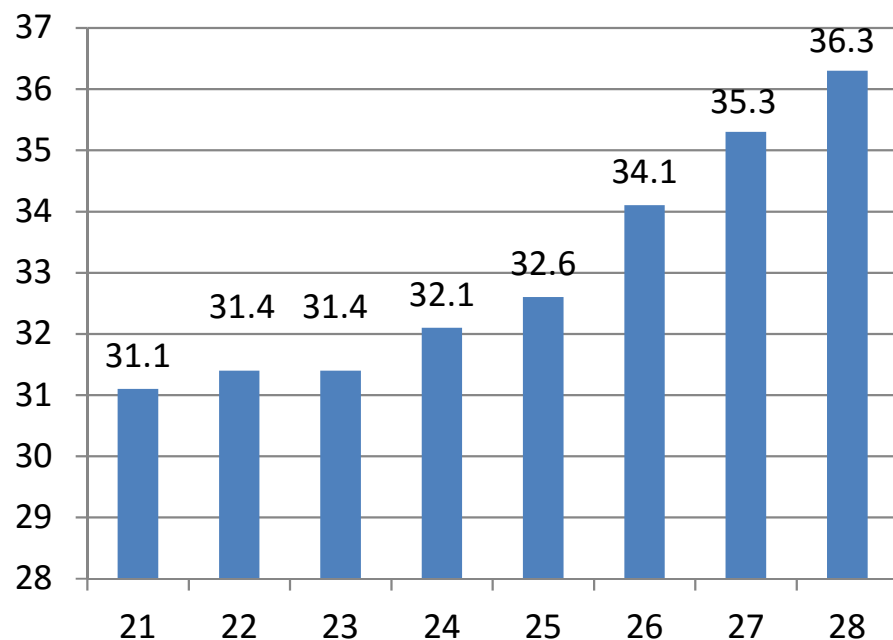
(単位 人/1日当たり)

	21年度	28年度	増減数	増減率		21年度	28年度	増減数	増減率
烏丸線					東西線				
国際会館	10,680	12,941	2,261	21.2%	六地蔵	5,816	6,683	867	14.9%
松ヶ崎	5,140	5,907	767	14.9%	石田	3,156	3,336	180	5.7%
北山	6,427	7,024	597	9.3%	醍醐	6,360	6,181	△179	△2.8%
北大路	13,665	15,052	1,387	10.2%	小野	3,166	3,565	399	12.6%
鞍馬口	4,806	4,978	172	3.6%	柳辻	7,157	8,193	1,036	14.5%
今出川	10,631	13,733	3,102	※1) 29.2%	東野	5,222	5,697	475	9.1%
丸太町	10,051	10,836	785	7.8%	山科	20,157	21,566	1,409	7.0%
烏丸御池	14,022	17,413	3,391	24.2%	御陵	4,059	4,122	63	1.6%
四条	42,195	48,941	6,746	16.0%	蹴上	4,322	5,144	822	19.0%
五条	5,711	6,953	1,242	※2) 21.7%	東山	8,101	9,449	1,348	※5) 16.6%
京都	51,590	61,993	10,403	20.2%	三条京阪	12,080	12,931	851	7.0%
九条	1,828	2,570	742	※2) 40.6%	京都市役所前	10,752	13,181	2,429	22.6%
十条	2,888	3,641	753	26.1%	烏丸御池	4,324	5,230	906	21.0%
くいな橋	2,357	2,869	512	21.7%	二条城前	3,540	4,354	814	※5) 23.0%
竹田	8,499	9,665	1,166	13.7%	二条	8,498	9,985	1,487	17.5%
近鉄連絡	15,504	16,353	849	5.5%	西大路御池	4,232	6,057	1,825	※3) 43.1%
烏丸線計	205,994	240,869	34,875	16.9%	太秦天神川	5,645	8,566	2,921	※3・4) 51.7%
					京阪連絡	3,926	4,107	181	4.6%
					東西線計	120,513	138,347	17,834	14.8%

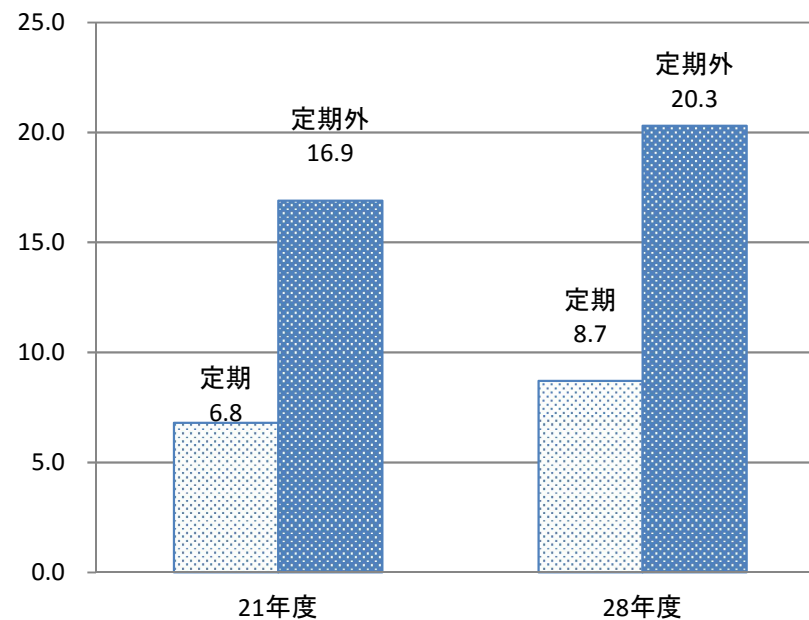
【参考②】平成21～28年度の市バスのお客様数の推移

- ・平成28年度を21年度と比較すると、地下鉄と同じ5万2千人の増となった。
- ・この間に、車両を44両(764両→808両)増車し、系統も74から83に増やすとともに、地下鉄をはじめ、JRや私鉄との乗継利便性の向上を図った。
- ・市バスにおいても、「歩くまち・京都」の取組が奏功して定期の利用が26.3%増加している。特にバス・地下鉄連絡フリー定期が27.7%増加した。

市バスのお客様数の推移 (単位 万人/1日当たり)



21 - 28年度定期・定期外の比較 (単位 万人/1日当たり)



5 新目標「地下鉄・市バスお客様1日80万人」

【新目標の背景】

○地下鉄5万人の増客目標を早期に達成したが、地下鉄事業は依然として厳しい経営状況

27年度決算＝企業債等残高:3911億円
資金不足:309億円

○「歩くまち・京都」や「健康長寿のまち・京都」の更なる推進には、公共交通を活用したまちづくりを一層進めていく必要がある。

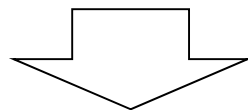
☞このため、これまで取り組んできた「地下鉄の増客」の取組を、「地下鉄・市バスのネットワークをはじめとする公共交通全体の利用促進」に進化させる。

現状(28年度)
地下鉄・市バス合計のお客様数
1日当たり74万2千人



目標(31年度)
1日当たり80万人

100万人の市民の皆様が、毎月、地下鉄や市バスをあと2回多く御利用いただくことで、1日当たりのお客様数80万人が達成できます。



- ・目標達成には、市民ぐるみで取組を進めていくことが必要！
- ・合わせて、「地下鉄5万人増客推進本部」の取組の成果を踏まえ、全庁体制で増客策を推進！

6 新目標達成に向けた新たな体制を構築

現行の「地下鉄5万人増客推進本部」の体制を継承する全庁組織「地下鉄・市バスお客様1日80万人推進本部」の取組とともに、民間団体が参画する新たな組織「チーム電車・バスに乗るっ」を設立し、民間と行政の共汗(協働)の取組により、地下鉄・市バスをはじめとする公共交通を活用したまちづくりを一層推進する。

地下鉄・市バスを含む公共交通全体の利用を促進し、公共交通優先のまちづくりを推進！

地下鉄・市バスお客様
1日80万人推進本部(市役所)

- 目的
 - ・地下鉄・市バスの増客
(1日80万人)
- 組織体制等
 - ・副市長をトップとする全庁組織
 - ・本市のあらゆる施策を動員し取組を推進

若手職員増客チーム

相互連携

新しい体制を構築！

チーム「電車・バスに乗るっ」

- 目的等
 - ・地下鉄・市バスを含む公共交通全体の利用促進
 - ・参画団体からの企画提案をもとに、地下鉄・市バスを含む公共交通を活用したプロジェクトを実施！
- 組織体制(参画団体)
 - ・民間事業者(大学, 商業施設, 集客施設など)
 - ・本市の関係局区
 - ・若手職員増客チーム
 - ・交通局

企画提案に賛同するメンバーで、個々にプロジェクトチーム(PT)を結成！

PT

PT

PT

PT

7 地下鉄5万人増客達成/地下鉄・市バスお客様1日80万人 キックオフイベント(平成29年5月28日(日), 地下鉄京都駅構内「コトチカ広場」)

地下鉄1日5万人増客の目標達成の市民の皆様への御報告と、「地下鉄・市バスお客様1日80万人」に向けて市民の皆様とともに取り組んでいくキックオフとして開催した。



■市長あいさつ



■地下鉄・市バス1日80万人
に向けた鏡開き

8 今後のスケジュール

		地下鉄・市バスお客様1日80万人 推進本部	チーム「電車・バスに乗るっ」
29 年度	6~7 月	地下鉄・市バスお客様1日80万人 推進本部会議(14日)	チーム「電車・バスに乗るっ」設立総会
	8月 ~	新目標に向けたアクションプログラ ムの策定 幹事会(庶務担当部長で構成)	・プロジェクトチームの発足 以降, プロジェクトチームごと に活動を展開
	11月	地下鉄・市バスお客様1日80万人 推進本部会議(上半期進捗確認)	
	3月		総会(各プロジェクトチームの活動報告)